令和2年4月27日発行　第七十一巻第三号

岡山畜産便り

2020 4

坂本産業株式会社　　坂本　康尚さん（養鶏）

もくじ

〔酪大だより〕
第54期生が卒業しました
（公財）中国四国酪農大学校 …… 1

〔県民局だより〕
吉備中央町エコセンターの取り組み紹介
～良質な堆肥を生産・販売しています！～
備前県民局畜産班 …… 2

〔家保のページ〕
岡山家畜保健衛生所における蜜蜂の疾病発生状況
岡山家畜保健衛生所 …… 4

〔技術のページ〕
「おかやま四ツ☆子牛」における子牛上場日齢と肥育成績
畜産研究所　育種改良研究グループ
生産性向上研究グループ …… 6

〔畜産現場の声〕
お客様の要望を実現するために
坂本産業株式会社　坂本　康尚 …… 8

〔畜産女性の声〕
～大事なこと！～
高梁家畜保健衛生所　岡田　ひろみ …… 9

〔ホットニュース〕
（有）石岡牧場が肉用牛経営で
県内初の農場HACCP認証を取得 …… 10
（株）めぐみが農場HACCP認証農場に認定されました!
～採卵養鶏での取り組み～ …… 11

〔人事関係〕
岡山県畜産関係者名簿 …… 12
岡山県農業共済組合 …… 14
全農岡山県本部畜産部 …… 15
おかやま酪農業協同組合 …… 16
一般社団法人岡山県畜産協会 …… 17
岡山県畜産関係各種協議会 …… 18

第55回豚枝肉共励会を開催しました
岡山県養豚振興協会 …… 19

岸化学グループ

株式会社　正和

代表取締役　岸　小三郎

岡山本社	〒712-8055	岡山県倉敷市南畝1丁目13番1号	TEL 086（450）3807 FAX 086（450）4008
広島事業所	〒738-0513	広島県佐伯区湯来町大字伏谷字今山137番58	TEL 0829（40）5177 FAX 0829（40）5178
福山事業所	〒729-3102	広島県福山市新市町相方1089-19	TEL 0847（54）2007 FAX 0847（54）2008
鳥取事業所	〒680-0906	鳥取県鳥取市港町51番地	TEL 0857（50）1736 FAX 0857（50）1738
津山事業所	〒708-1544	岡山県久米郡美咲町周佐1377-4	TEL 0868（62）1232 FAX 0868（62）1233
たつの事業所	〒679-4116	兵庫県たつの市神岡町沢田字平岩ノ下1363番地	TEL 0791（64）0080 FAX 0791（64）0081
大村事業所	〒856-0009	長崎県大村市松原本町565番地13	TEL 0957（46）3800 FAX 0957（46）3824

取扱品目

- 死亡牛・死亡豚他の処理
- 有機性汚泥
- 廃食油
- 動植物性残渣
- 医療廃棄物

健康な仔牛づくりへの
一歩目はこれから！

弊社では、四十年余り培ってきた醗酵技術を用いることで、乳酸菌やその他の菌類を使用した良質な醗酵飼料を、肉用・乳用を問わず、全てのステージの牛に対して提供しております。

また、弊社ではこれらの技術を利用したオーダー品の設計や生産、飼料米の粉砕などの原料の加工も承っております。

原料を持込での加工依頼や、御要望の数量の多寡を問わず、まずはお気軽に御相談下さい。

醗酵飼料のパイオニア

フタバ飼料株式会社

〒709-0841　岡山県岡山市東区瀬戸町万富1057-1

TEL 086-953-0832　FAX 086-953-1870

E-mail：futabashiryo.co.jp

〔酪大だより〕

第54期生が卒業しました。

公益財団法人　中国四国酪農大学校

近年稀にみる暖冬少雪だった県北蒜山地域で早くも春の訪れを感じる３月下旬、第54期生17名（男子７名、女子10名）が酪農大学校を卒業しました。昭和36年に県立酪農大学校として設立され、昭和40年に財団法人中国四国酪農大学校に改組、平成25年には公益財団法人に移行した本校は、『経営感覚と確かな技術を持った人材の育成』『酪農を通じて地域に貢献できる人材の育成』『社会人としての基礎力を備えた人材の育成』の３つを教育理念に掲げ、実習を重視した酪農教育を行い、卒業後即戦力として働ける実践的な知識と技術を身につけた多くの人材を輩出してきました。今年は新型コロナウイルスの影響もあり卒業生、在校生、教職員のみのさびしい卒業式になってしまいましたが、無事に送り出すことができ安心しています。

第54期生一同（卒業式写真）

第54期生は平成30年４月に北は神奈川、南は沖縄から夢と希望を持った21名（男子９名、女子12名）が入学してきました。この学年は酪農後継者や農業高校出身で全員が入学前から農業経験者ということもあり、初めから牧場作業を楽しんで行っている姿が多く見られました。また、牛や共進会が好きな学生、機械の運転が好きな学生、加工実習が好きな学生といったようにそれぞれやりたいことがはっきりしている学生が多いという印象を受けました。特に印象的なのは学生が手塩にかけて育ててきたジャージー種「カヤベ　ゼニス　バレンティノ　リーズ」が体型審査で第２牧場初のエクセレント牛となったことです。先輩達がたゆまぬ努力で改良を進めてきた結果、54期でようやく実を結び学生達も喜んでいました。今年は全国共進会も控えているので、本校で学んだ知識・経験と培った精神力でチャレンジしていって欲しいと思います。

カヤベ ゼニス バレンティノ リーズ　H26.5.8生
5-06　３産　90点

また、今後社会人となり初めての経験ばかりで様々な壁にぶつかることもあるかもしれません。その時は同じ時間を共有し、固い絆で結ばれた仲間達と共に乗り切って欲しいと願っています。

就農・就職状況は、酪農後継者が２名、雇用就農が11名（うち酪農場７名、肉用牛農場３名、その他１名）、酪農ヘルパーが２名、海外研修が１名、その他１名となっています。このうち６名が岡山県内で就業しており、岡山県の畜産振興に繋がることを期待しています。

〔県民局だより〕

吉備中央町エコセンターの取り組み紹介
～良質な堆肥を生産・販売しています！～

備前県民局畜産班

１　はじめに

吉備中央町エコセンター（以下、エコセンター）は、当県民局管内唯一の堆肥センターで平成12年に設置されました。施設は、町が整備し、管理・運営を（公財）吉備中央農業公社（以下、農業公社）が行っています。

町では、地域資源循環型農業を推進しており、「有機の郷」を目指したまちづくりに取り組んでいます。その中で、エコセンターは、町内12戸の畜産農家から出される牛ふんを処理し、生産された堆肥を積極的に町内農地へ還元しており、地域資源の利活用に大きな役割を果たしています。

２　エコセンターの概要

(1) 施設の概要

施設は、スクープ式撹拌機がある一次発酵槽と堆積発酵させる堆肥舎からなります。

一次発酵槽では、家畜ふんを日量約20ｔ処理することができ、継続して良質堆肥を生産するため、機械・設備の点検を毎日欠かさず行っています。

スクープ式撹拌機

(2) 堆肥生産工程

堆肥の生産は、従業員４名で主に行っており、約３カ月かけて製品堆肥に仕上げています。生産した堆肥は、定期的に成分分析を実施することで、品質を確保するようにしています。また、堆肥生産工程では、特に水分調整と発酵温度に気をつけながら取り組んでいます。

①水分調整

堆肥化を始める際に行う水分調整は、良好な発酵を促進し、撹拌機に大きな負荷を掛けないためにもとても重要です。

エコセンターでは、おがくずやバーク、戻し堆肥等の数種類の副資材を利用していますが、家畜ふんと混合した後は、水分が常に一定になるよう水分計を活用して、定期的に水分含量を測定しています。

②発酵温度

安全な堆肥を生産するには、発酵温度はとても重要です。堆肥中の雑草種子や病原菌を死滅させるためには、60℃以上の発酵温度を２日以上継続させる必要があります。エコセンターでは、生産中の堆肥の発酵温度を常に計測し、どんな寒いときでも60℃以上をキープしており、80℃近くに達することもあるそうです。

堆積発酵の様子

(3) 良質堆肥生産のための検討会

エコセンターでは、３カ月毎に町、畜産研究所、県民局などの関係機関が集まり、より高品質な堆肥を生産するために検討会を開催しています。

検討会では、畜産研究所に生産過程の堆肥を分析してもらい、分析結果を基に副資材の量や生産工程の見直しを随時行っています。これまでに、副資材の量を調整することで、扱いやすい堆肥にしたり、太陽光等で品質の劣化を招く恐れがあった透明な袋を白色へと変更しました。

これらの生産工程等の見直しを意欲的に取り組むことにより、製品の品質も安定してきました。

堆肥のサンプリング

３　堆肥利用促進の取り組み

農業公社では、生産した堆肥を「エコ堆肥」という名称で販売しています。種類は利用者のニーズに合わせて、15kg袋、500kgフレコン、バラの３種類を取り扱っています。

15kg袋詰め製品は、町内のＪＡや道の駅「かよう」で販売しており、フレコンとバラは、町内限定で無料配達を行っています。

エコ堆肥（500kgフレコン）

また、町では「有機の郷」づくりを推進するため、堆肥の購入助成を行っており、町民は特別価格で購入することができます。

エコセンターの堆肥は、品質管理を徹底して生産されており、水稲、露地野菜や果樹等幅広く利用されています。

特に、町特産の黒大豆やブドウのほ場で多く利用されています。

販売促進用チラシ

農業公社では、堆肥生産の他にも堆肥散布を含めた農作業全般を請け負っており、町の循環型農業の核として活躍しています。

堆肥散布作業

４　おわりに

吉備中央町では、畜産農家をはじめとして、地域ぐるみで「有機の郷」づくりに積極的に取り組んでいます。

備前県民局では、これからも関係機関と連携し、良質な堆肥の生産と利用拡大の活動を支援していきます。

〔家保のページ〕

岡山家畜保健衛生所における蜜蜂の疾病発生状況

岡山家畜保健衛生所

1　はじめに

蜜源の減少等により昭和60年以降、養蜂戸数は年々減少していましたが、養蜂振興法の見直しで平成25年から届出義務が趣味養蜂にまで拡大されたこともあり、近年、養蜂戸数は増加傾向にあります（図１）。

岡山県は趣味で蜜蜂を飼育する趣味養蜂者が多く、養蜂戸数は全国第７位です(図２)。

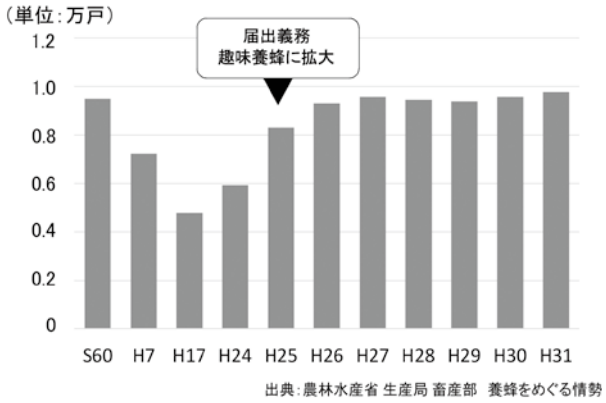


図1　国内における養蜂戸数の推移

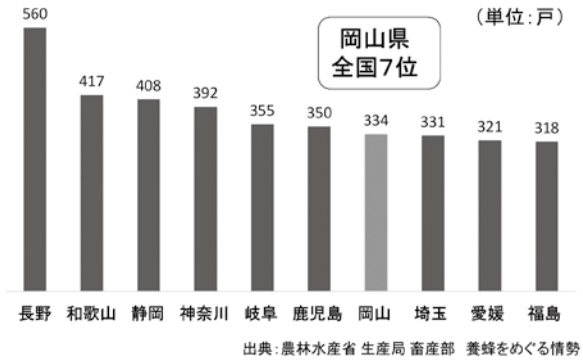


図2　養蜂戸数 上位10県（H31年１月１日現在）

＊養蜂振興法

蜂蜜等生産物の増産を目的とし、昭和30年に制定。蜜蜂の飼育を行う者は、都道府県知事に届出を行う必要がある。

２　管内における疾病発生状況

手軽に飼育できるとして最近人気のある蜜蜂ですが、「家畜」として家畜伝染病予防法で５種の監視伝染病が定められています（法定伝染病：腐蛆病、届出伝染病：アカリンダニ症、バロア病、ノゼマ病、チョーク病)。

以下に、平成25年から管内で発生した蜜蜂の疾病を紹介します。

(1) アカリンダニ症

近年、全国的に発生が増加している監視伝染病で、アカリンダニの気管内寄生により成蜂のみが罹病します。

岡山市で平成27年10月、令和元年11月に、赤磐市で平成31年３月に発生があり、全症例で多数の成蜂の死亡および下翅が閉じない異常（Kウイング）を認め、死亡した成蜂の気管内にアカリンダニの感染を認めました（写真１)。

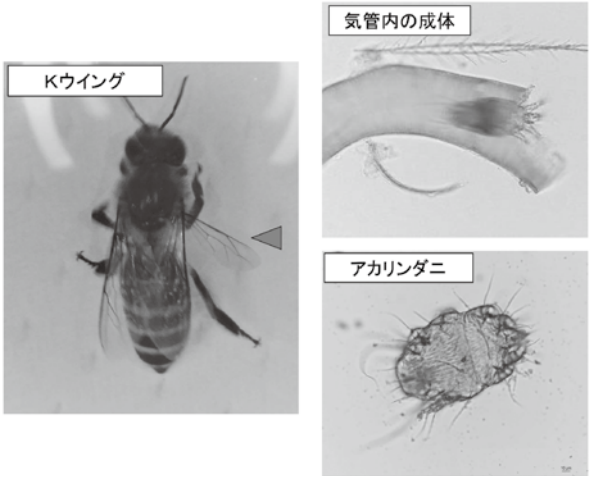


写真1　下翅の異常（Kウイング）及び蜜蜂の気管内のアカリンダニ

(2) バロア病

件数は少数ながら毎年国内発生報告がある監視伝染病で、ミツバチヘギイタダニが幼虫および成蜂に外部寄生することにより羽の奇形、幼虫や蛹の死亡が発生します。

和気町で平成27年11月に、備前市で令和元年７月に発生があり、翅の縮れを呈し死亡した成蜂を多数認め、ミツバチヘギイタダニも確認されました（写真２）。

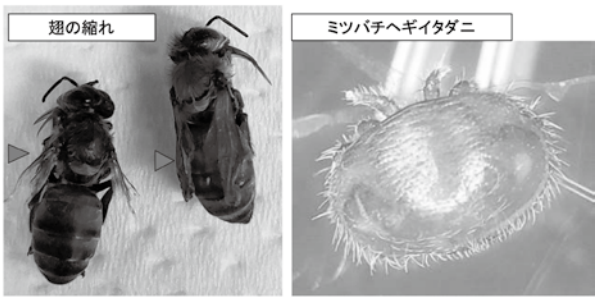


写真2　翅の縮れとミツバチヘギイタダニ

(3) サックブルード病

袋状（サック状）を呈した蜂児の死亡を特徴とするウイルス性疾病で、監視伝染病ではありませんが、国内では以前から発生があります。

平成28年６月に岡山市で発生し、ウイルス遺伝子も検出されました（写真３）。

写真3　袋状（サック状）を呈した蜂児

(4) 麻痺病

監視伝染病ではありませんが、国内で近年問題になりつつあるウイルス性疾病です。

令和元年７月に備前市で発生し、その特徴である、巣箱周辺を痙攣しながら徘徊したり、体が黒く変色し体毛が脱落し死亡した成蜂を多数認めました。死亡した成蜂からウイルス遺伝子も検出されました（写真４）。

写真4　体が黒く変色し体毛が脱落した蜂の死体

３　おわりに

健康志向の高まりや、オーガニック食品ブームと共に、蜂蜜を自家生産する趣味養蜂者が増加しています。

蜜蜂の飼育は一見、手軽に見えますが、野山を自由に飛んで採蜜する蜜蜂は種々の感染症に罹患する可能性があります。

この為、他の家畜と同様、日々の健康観察や巣箱等の飼養管理器具の消毒等、衛生管理が必要です。

今後、趣味養蜂者についても、必要に応じて蜜蜂の疾病や飼養衛生管理についての指導を実施する予定です。

〔技術のページ〕

「おかやま四ツ☆子牛」における子牛上場日齢と肥育成績

畜産研究所　改良技術研究室　育種改良研究グループ
飼養技術研究室　生産性向上研究グループ

岡山県では、総合家畜市場に上場される和牛子牛の資質を向上させて、肥育農家の求める子牛の生産を目的に、「おかやま四ツ☆子牛」（以下、「四ツ☆子牛」とする）の取り組みを行っています。

表1　四ツ☆子牛認定基準（R2.3月現在）

☆ 出荷日齢：雌　225日齢以上 285 日齢未満
去勢 215 日齢以上 275 日齢未満

☆ 体高及び胸囲：全国和牛登録協会が示す発育基準の１．０σ以上

☆ 胸囲と腹囲の差 ２２cm 以上

☆ 過肥、著しい瑕疵、損傷のないこと

※σ値…標準偏差のこと。数値が大きいほど平均から離れていることを意味する。

1　四ツ☆子牛の認定状況と上場日齢

表１の４つの（☆）の条件を満たした発育良好な子牛に与えられる称号が「四ツ☆子牛」です。

図１は、過去10年取り組んできた四ツ☆子牛の認定状況の推移です。

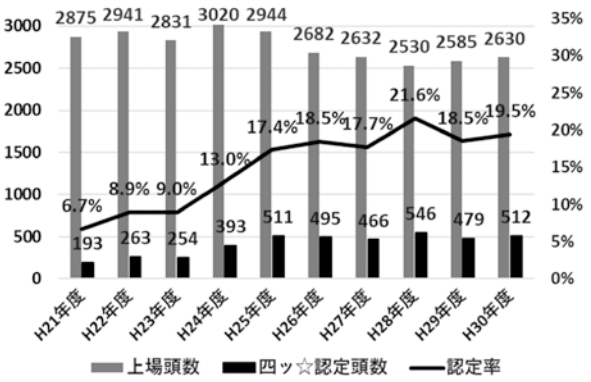


図1　四ツ☆子牛認定状況の推移

開始当初は、数パーセントであった認定率は、様々な取り組みを行う中、最近では、約20%にまで上昇しています。

主催する資質向上協議会では、認定率30%を目標にかかげており、更なる取り組みが必要です。

そうした中、市場に上場される子牛の状況にも変化が見られます。図２は、平成26年度から30年度までの５年間、市場に上場された去勢子牛について、年度毎の日齢別上場頭数の変化を示したものです。

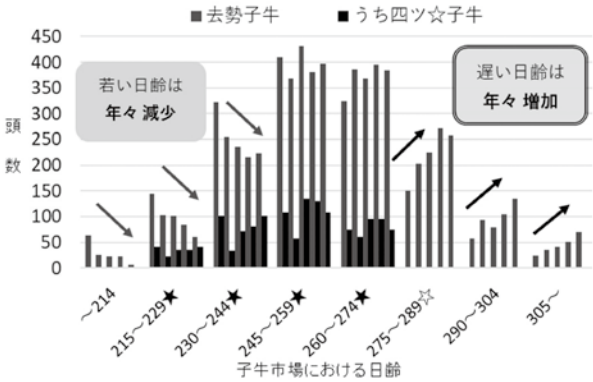


図2　H26～H30年度の日齢別出荷頭数の推移

去勢では四ツ☆子牛認定基準の日齢は、215日から274日でしたが、近年、若い月齢の子牛は減少傾向である一方、日齢の大きい子牛は増加傾向にあります。「四ツ☆子牛」の認定基準日齢を超えた牛が増加傾向にあり、そのなかには優良な子牛が多数いるものと思われます。

2　子牛市場における日齢と肥育成績

図３～５は、これまでに子牛市場に上場され、その後肥育された去勢牛の枝肉成績を元に、子牛市場での出荷日齢区分毎に肥育成績を示したものです。肥育後の枝肉重量を見てみますと、子牛市場における上場時の日齢が若いほど大きい傾向であることが分かります。

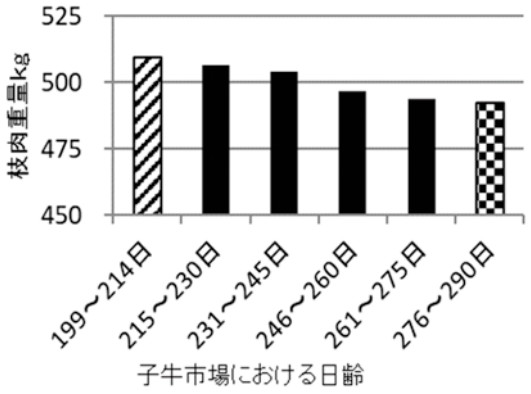


図3　子牛市場の日齢と枝肉重量

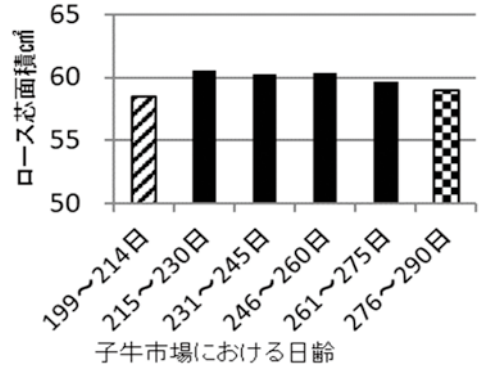


図4　子牛市場の日齢とロース芯面積

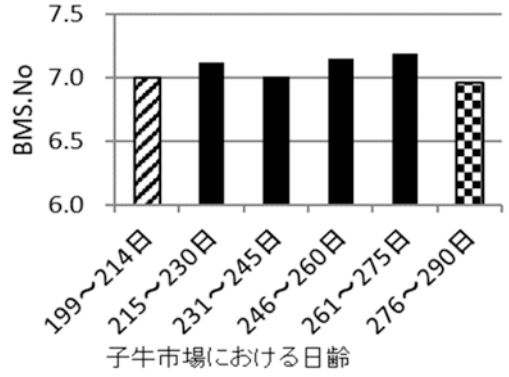


図5　子牛市場の日齢とBMS.No

子牛市場で非常に若い日齢の子牛は、発育が特に優れており、肥育に入っても特に優れた増体を示していることが伺えます。

また、現行の四ツ☆子牛の日齢基準を超えていた牛もロース芯面積やBMS. No等、肥育成績は良好であることが分かります。

一方で、子牛市場から導入後、肥育出荷するまでの肥育日数を図６に示しましたが、若い日齢で上場された子牛は肥育日数が長くなり、子牛市場上場時の日齢が増す毎に、肥育日数が短くなる傾向が見られました。

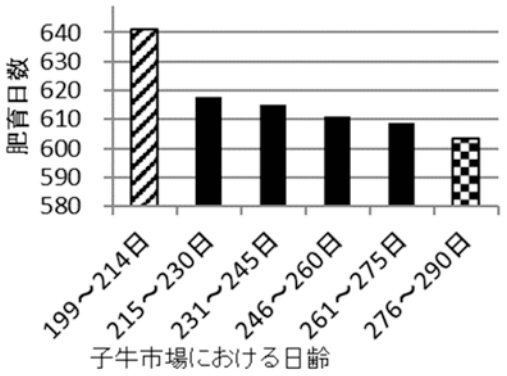


図6　子牛市場の日齢とその後肥育日数

肥育後の枝肉市場では、出荷月齢の早い牛は、肉のしまりや中・後躯でのサシの弱さが懸念されることから、28ヶ月齢以降の枝肉が望まれる場合もあります。

子牛市場で若齢の牛は、発育良好であることから、枝肉重量も大きくなることが期待できますが、月齢に合わせた群管理の中でのビタミンA制御や出荷時に若齢であることで枝肉評価が下がることが懸念されるなど課題もありますので注意が必要です。

３　最後に

子牛の状況は年々変化しており、従来より上場時の日齢が増加する傾向にあります。日齢が四ツ☆の認定上限を超えた子牛も肥育成績は良好であることから、去勢、めすともに日齢基準を見直すこととなりました。

令和２年度４月子牛市場からは、日齢基準を15日延長して四ツ☆子牛が認定されるように基準を改めることとしています。

より多くの四ツ☆子牛の表示販売につなげて、皆様とともに更なる資質向上を目指していきたいと思います。

〔畜産現場の声〕

お客様の要望を実現するために

坂本産業株式会社　常務取締役　坂本　康尚

坂本産業株式会社は、岡山県内および広島県、兵庫県、三重県にグループ養鶏場を持ち、鶏卵販売している会社です。戦後の創業時は鶏卵産地の集荷問屋としてスタートし、農家さんに飼料を販売して、鶏卵を集荷し関西方面に出荷していました。

昭和40年頃から、お客様のニーズに沿った鶏卵を直接生産できるよう、自社農場を建設したり、同業者をグループ化することで現在に至ります。創業者は私の祖父にあたり、私は平成15年に２年間のサラリーマン生活の後に当社に入社しました。入社後翌年に本社GPセンターでISO9001を取得、その後も主に鶏卵の販売担当としてお客様の期待に応えられるよう、生産の拡充や食品安全規格の取得に取り組んできました。近年では、2013年に兵庫県へ採卵養鶏場およびGPセンターを開設、2017年に国のクラスター補助金制度を利用して笠岡市にGPセンターを開設、2019年に兵庫県・三重県に養鶏場をもつ企業の買収等により生産規模を拡大してきております。

このような生産拡大の背景として、お客様の大型化を感じています。従来は小売店も外食店も１店１店の独立型の比率が今よりも多く、鶏卵の供給もそのお店に直接納入する、といったスタイルが一定程度ありました。最近ではスーパーも外食店もチェーン化が進み、店舗ごとへの納入ではなく、中国エリア・近畿エリアといった地域単位で対応できる事が、取り組みの前提となるケースが増えてきています。また、その変化の中で、消費者と生産者の距離はますます遠ざかって、「○○商店に卵を納める△△さん」という顔の見える関係から、工業製品と同じ、「どこかの工場で作られるもの」に変わってきているため、「顔が見える安心感」が薄まる代わりに「裏付けのある安全」を強化する必要性が高まっています。そのため、科学的な裏付けのある安全性を高めていくとともに、それを証明する食品安全規格の重要性が強くなっていると感じます。また、スーパーや外食、流通業者様の担当の方と接して感じるのは、「お客様の要望をうまく形にするのが重要」という事です。お客様が言葉で表現される「希望」は、実は他の形でも実現できる場合が多くあります。お客様が表現される希望と、合理的な供給を両立させるために、生産・製造・流通の事情を理解した上で、当社にとっても無理のない形を考え、提案する事が重要だと思っています。お客様は「例えばこんな事ができないか」と表現されますが、そのまま実行すると現場に無理が生じる場合も多くありますし、一度決まってしまうと後から変えるのは難しいので、提案の段階で良い落としどころを見つける事が、私の役割だと感じています。動物愛護の問題や人工肉ならぬ人工卵の脅威が来る可能性もありますが、たまごかけご飯や温泉たまごの美味しさは、他には簡単に置き換えできないと思います。これからもお客様の希望を、現場にとっても合理的な形で実現してご満足いただき、また次の課題が生じた際に「坂本産業に相談すれば解決できるのではないか」と声を掛けていただけるように、また、効率的な業務運営によって低コストで生産し、次のご相談事に応じられる態勢を整えておくように心掛けていきます。

〔畜産女性の声〕

～ 大事なこと！ ～

高梁家畜保健衛生所　岡田　ひろみ

【はじめに】

「働く女性、母親として自由に執筆を」と依頼を受け、何気なく引き受けたものの、特にテーマが思いつかず、とりあえず今感じているままを書くことにしました。

【大事な事①；信頼】

私は、入庁して30年近くになりますが、そのほとんどが、家畜保健衛生所勤務です。しかも通常の職員の転勤スパンは３年位でありますが、私の場合、1ヶ所4～6年くらいの“おしりに根が生えた”勤め人として過ごしてきました。ですから、農家の方ともその分、長い期間付き合うことができ、時には一身上の悩みを聞いたり、時には厳しく経営面での指導を行ったりしてきた結果、信頼関係を築ける機会も多かったように思えます。

【大事な事②；学びの態度】

私は、よく人の言うことを勝手に自分で解釈してしまうことが多いのですが、まず人の話をじっくり聞くことが大切です。じっくり聞くとは“学びの態度”だと思います。日々の会話の中でも、至る処に学ばなければならないことは転がっています。私はそれを初中後（しょっちゅう）取りこぼすという失態を続けていると痛感しています。どんな職に就こうとも学ぶ姿勢は大事です。

【大事な事③；熱意】

ご承知のとおり、国内では未だ豚熱の発生が終息せず、緊張した状況が続いています。それ以外の家畜伝染病の発生予防にも努めなければならず、家畜保健衛生所では、もっぱら農場の方に「飼養衛生管理基準」を遵守するよう指導することが、メインの仕事になっています。農場もそれぞれ状況が異なっており、指導も難しいのですが、改善するには職員も農場の方の目線に立って、その農場でできる事が何か、どうすればできるかを考え指導する事が大事です。熱意と誠意をもって対応しなければなりません。（なかなかできないのですが）

【とても大事な事；家族】

なんと言っても大事な事、それは私を支えてくれている家族です。とにかく目の前のことに手を出すと周りが見えなくなり、そのあおりを家族が受けている、という状況でしょうか？「親はなくても子は育つ」、とはよく言ったもの、“相棒”初め、家族の協力なしでは、子育てしながら仕事を続けるなど、とてもできなかったと思います。とにかく「家族」に感謝、感謝です。

【これから】

人生は、このままだとあっという間に終わってしまいそうです。そこで私の目標、「日々信頼を築く努力を続け、学びの姿勢を絶やさず、仕事の目標を持ち、それに熱意を注ぐ。且つ家族に感謝の気持ちを持ち、それを態度で返すこと。」

人間、後を振り返ること（反省）は必要ですが、やはり前へ前へと人を思いやりながら進んでいきたいと思っています。

〔ホットニュース〕

(有)石岡牧場が肉用牛経営で県内初の農場HACCP認証を取得

(有)石岡牧場は、令和２年２月28日に、肉用牛経営として県内初の農場HACCP認証を取得しました。石岡牧場は、現在和牛繁殖牛約44頭と交雑種肥育牛約500頭飼育されています。

同牧場の石岡社長は、「平成13年のBSEの発生で牛肉価格が暴落し、精肉販売にも取り組んだ際、安全安心を確保するためにはHACCPの取組が必要と考え、管理の見直しや、作業記録をつけてきた。しかし、当時は食品衛生のHACCP制度しかなかったため、断念していたが、農場HACCP認証制度ができたことから、挑戦することを決意した。」とのことです。

平成30年７月から、外部組織の畜産協会や津山家畜保健衛生所が支援し、毎月１回の農場HACCP推進会議を開催し、344工程の作業手順や記録の作成などに取り組み、約１年半という短期間で取得することができました。

石岡社長が、以前からHACCPの取組を視野に入れ日々対応をされてきたことが、早期の取得につながったと考えられます。

認証の取得によって、「注射針や動物用医薬品の残留が無いことのモニタリング方法やその検証方法が「見える化」されたことで出荷牛の安全性がより向上し、又、人・物・車の農場内の動線図を作成することで消毒場所を増設し病原微生物の侵入防止の強化にも繋がった。さらに、作業手順を作成することで、作業の効率化も図られている。」と牧場継承以来の念願が叶ったと大変喜んでおられます。

今後は、約500頭がいる町川牧場（勝央町）、約200頭の物見牧場（津山市）でも認証取得を目指すとのことです。

株式会社 めぐみが農場HACCP認証農場に認定されました!
～採卵養鶏での取り組み～

(一社)岡山県畜産協会

令和２年３月30日、浅口市鴨方町の(株)めぐみが農場HACCP認証を取得しました。当農場では、瀬戸内海に隣接する里山で解放鶏舎による採卵鶏6000～7000羽を飼養されています。鶏舎の隣にある「めぐみのマルシェ」で生みたて卵を販売するほか、東京から地元岡山まで個人宅配で全量を自社で販売されています。

農場HACCP取組みの契機は、生産物の安全性を客観的に担保できる農場HACCP認証によって、卵の付加価値を高めること、そして、現社長が先代から経営を継承した経験から、誰もが農場内作業を理解できるようなマニュアル整備をすすめることでした。

平成30年４月18日から月一度の農場HACCP推進会議を重ね、規定書17つを作成し、記録16種を整備しました。平成30年７月には西日本豪雨の被害に見舞われ、システム構築を一時中断せざるを得なかったものの、鶏舎の改修を経て、今年３月に認証審査に至り、着手から約２年で認証取得となりました。

社長は取組みのメリットとして、井笠家畜保健衛生所やMPアグロ、畜産協会といった外部支援員を交えた推進会議の中で、農場の衛生レベルが向上したことを挙げられました。また、システム構築を通して、農場の現状を把握することができ、記録付けなどシステムを運用していくことで、従業員の日々の作業状況を管理しやすくなったというメリットもあったようです。

県内では酪農、肉用牛（繁殖・肥育)、養鶏と徐々に農場HACCPの取り組みが広がっています。畜産協会では今後も関係機関と連携し、畜産農家での取り組みを支援していきます。

岡山県畜産関係者名簿（令和2年4月1日現在）

部　　署	職　　名	氏　　名
農林水産部畜産課	課　長	菱川　雅弘
FAX 086-224-2155	副課長	景山　元滋
生産振興班	総括参事（生産振興班長）	藤原　努
TEL 086-226-7429	副参事	岡田　英樹
	副参事	片岡　まどか
	主　任	金谷　健史
	技　師	田中　康裕
	技　師	綱島　優子
衛生環境班	総括参事（衛生環境班長）	平田　祐介
TEL 086-226-7431	副参事	中山　裕貴
	副参事	いざさ　啓介
	副参事	佐藤　静子
	主　幹	高崎　緑
	技　師	宇高　成美
経営流通班	総括参事（経営流通班長）	森分　哲彦
TEL 086-226-7428	副参事	高橋　正通
	副参事	田中　健嗣
	副参事	田邊　裕司
	主　幹	多田野　喬
	主　幹	石原　卓治
	主　任	高取　和弘
(中国四国酪農大学校派遣)		
TEL 0867-66-3651	校　長	山田　義和
FAX 0867-66-3652	副校長	木曾田　繁
総務課	課　長	(副校長兼務)
教務課	技　師	三宅　歩
備前県民局		
農畜産物生産課	課　長	永井　伸一
TEL 086-233-9828	総括副参事（畜産班長）	滝本　英二
FAX 086-234-9064	副参事	清水　淳也
	主　幹	宮本　康子
	主　幹	澤井　紀子
	技　師	川本　梨絵
	技　師	藤原　希
備中県民局		
農畜産物生産課	課　長	松尾　善博
TEL 086-434-7033	総括副参事（畜産第一班長）	河原　貴裕
FAX 086-425-4921	副参事	森山　靖成
	副参事	三木　隆司
	副参事	出石　節子
	主　任	立川　優子
	主　任	吉田　由紀
	主　任	広金　弘史
	主　事	劔持　久美
	技　師	大坂　文美恵
TEL 0867-72-9166	総括副参事（畜産第二班長）	塩田　鉄朗
FAX 0867-72-9146	副参事	朝倉　麻由子
	技　師	高取　真穂

部　　署	職　　名	氏　　名
美作県民局		
農畜産物生産課	課　長	津寺　春良
TEL 0868-23-1310	総括副参事（畜産第一班長）	内田　啓一
FAX 0868-24-4962	副参事	高取　健治
	主　任	石川　晶子
	技　師	宮野　友理
	技　師	江草　亮太
TEL 0867-44-7564	総括副参事（畜産第二班長）	植田　幹隆
FAX 0867-44-4754	副参事	定森　淑子
	技　師	入江　結唯
	技　師	岡部　真宏
岡山家畜保健衛生所	所　長	平野　充生
家畜保健衛生課	課　長	澤田　勝志
TEL 086-724-3880	副参事	大谷　晴美
FAX 086-724-3884	副参事	平井　伸明
	副参事	萱原　佳美
	主　任	荒木　由季子
	主　任	錦織　拓美
	主　任	児子　友美
	主　任	鳥越　真弓
	主　任	蛇島　武久
	技　師	西川　早百合
	技　師	武内　大
病性鑑定課	課　長	(所長兼務)
TEL 086-724-3855	専門研究員	別所　理恵
FAX 086-724-3856	専門研究員	田原　鈴子
	研究員	難波　かおり
	研究員	梯　洋介
	研究員	山口　葵
	研究員	水上　智秋
井笠家畜保健衛生所	所　長	松長　清美
TEL 0866-84-8221	次　長	牧野　俊英
FAX 0866-84-8233	副参事	金岡　孝和
	副参事	佐野　通
	副参事	田中　静香
	主　幹	武藤　多佳子
	主　任	福田　新
	主　任	田中　成枝
	技　師	神田　優衣
	主　事	岡　朋樹
	技　師	吉村　綾乃
高梁家畜保健衛生所	所　長	遠藤　広行
TEL 0866-22-2077	次　長	岡田　ひろみ
FAX 0866-22-7882	副参事	守屋　吉英
	副参事	横内　淳一郎
	副参事	馬場　彩
	主　幹	黒岩　恵
	主　任	西村　祐枝
	技　師	梶谷　真一郎
	技　師	三柳　和志

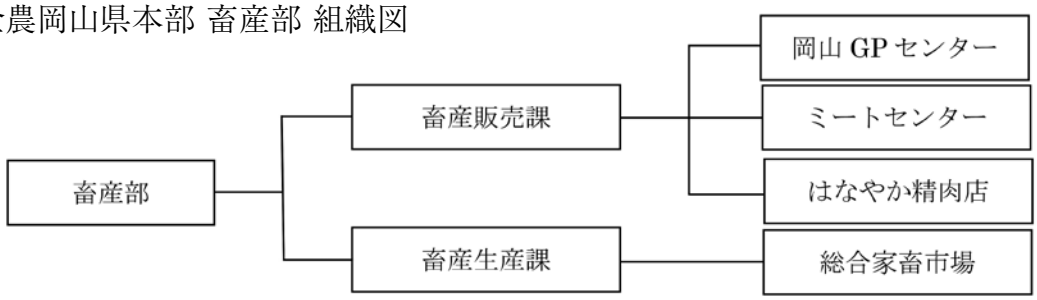
部　　署	職　　名	氏　　名
真庭家畜保健衛生所	所　長	中村　浩三
TEL 0867-44-2231	次　長	西川　真琴
FAX 0867-44-5060	副参事	秦　　守男
	副参事	西　　淳子
	副参事	橋田　明彦
	主　幹	横内　百合香
	主　任	杉本　裕亮
	技　師	森　　眞理子
	技　師	岡田　慧
	技　師	西江　拓海
津山家畜保健衛生所	所　長	橋本　尚美
TEL 0868-29-0040	総括参事	澤田　健二
FAX 0868-29-3140	副参事	松馬　定子
	副参事	高見　剛
	副参事	山内　章江
	主　幹	小田　亘
	主　幹	笹尾　浩史
	主　任	串田　規子
	主　任	谷口　翔
	主　任	権代　将人
	主　任	光宗　仁美
	技　師	大津寄由華
	技　師	長尾　薫乃
	主　事	竹内　開
農林水産総合センター	所　長	秋山　俊彦
畜産研究所	副所長	岸戸　武士
TEL 0867-27-3321		
FAX 0867-27-3333		
総務課	副参事	西村　江理子
（畜産研究所駐在）	主　任	田邊　稔
	主　任	樋口　久男
経営技術研究室	室長（特別企画専門員）	斉藤　浩史
TEL 0867-27-3322	特別企画専門員	山本　康廣
（企画開発Ｇ）	グループ長（専門研究員）	行森　美枝
	専門研究員	武縄　勝浩
	専門研究員	脇本　進行
	技　師	森清　邦彦
（環境研究Ｇ）	グループ長（特別研究員）	白石　誠
	専門研究員	水木　剛
	研究員	長尾　伸一郎

部　　署	職　　名	氏　　名
改良技術研究室	室長（特別企画専門員）	川尻　鉄也
（育種改良研究Ｇ）	グループ長（専門研究員）	片岡　博行
TEL 0867-27-3221･3396	副参事	福井　康勝
	副参事	高山　勲
	主　幹	横山　明彦
	専門研究員	小林　宙
	技　師	岩本　侑希子
（養豚研究Ｇ）	グループ長	(改良技術研究室長兼務)
	専門研究員	佐々木　真也
	副参事	安藤　芳宏
	副参事	村田　和弘
	主　任	服部　一洋
（繁殖システム研究Ｇ）	グループ長（専門研究員）	坂部　吉彦
	専門研究員	黒岩　力也
	研究員	羽柴　一久
飼養技術研究室	室長（特別企画専門員）	吉元　和明
（生産性向上研究Ｇ）	グループ長（専門研究員）	川口　泰治
TEL 0867-27-3349	副参事	大平　嘉秀
	副参事	有富　勝仁
	副参事	杉山　卓
	専門研究員	荒金　知宏
	主　任	湛増　美好
	技　師	堀川　寛通
（飼養管理研究Ｇ）	グループ長（専門研究員）	串田　晴彦
	副参事	定賀　和夫
	副参事	富田　康
	副参事	岡本　元正
	研究員	金谷　真澄
	主　任	福島　敏道
	主　任	山田　庄市
	技　師	二部野　紗世
県営食肉地方卸売市場	場　長	井上　信治
TEL 086-272-2138	次　長	清水　昌之
FAX 086-273-7729		
総務課	課　長	（次長兼務）
	主　幹	石井　良明
	主　任	井上　亘
業務課	課　長	池田　克美
	副参事	難波　浩
	主　幹	妹尾　直樹
	主　幹	福島　成紀
	主　幹	岡本　雄太
	主　任	眞木　元

岡山県農業共済組合　　令和2年4月1日

家畜部	部長	日下知加久
家畜課	課長	鴨井敏則
TEL 086-277-5539	課長代理	江草佳彦
FAX 086-276-1412	主事	石川貴章
	主事	安井英人
	主事（再）	西村一道
	臨時	森理香
生産獣医療支援センター	基幹所長	西川達也
TEL 0867-22-1500	主任	若槻拓司
FAX 0867-22-1194	技師	齋藤愛
	技師（再）	森本高輝
	嘱託	大賀まりえ
南部家畜診療所	所長（兼）	西川達也
TEL 086-943-6888	主幹	池山亨
FAX 086-943-7703	技師	広瀬水彩子
	技師	金子愛弥
	臨時	岡本麻衣
西部基幹家畜診療所	基幹所長	畦崎正典
TEL 0865-64-4141	主幹	大屋卓志
FAX 0865-64-2926	主任	根木慶彦
	技師	石田和子
	技師	守屋ひか理
	技師	菱川創太
	臨時	瀬良田祐子
	臨時	齋藤聡子
西部家畜診療所	所長（兼）	畦崎正典
TEL 0866-22-2211	主幹	水戸康明
FAX 0866-22-0358	技師	越本時貴
	技師（再）	前原健成
	技師（再）	正木丈博
	臨時	中笹良恵
北部基幹家畜診療所	基幹所長	西山篤
TEL 0868-26-1112	次長	椿修
FAX 0868-26-6632	技師	峠田大志
	技師	宇野進
	技師	篠原健志
	技師	築山嘉輝
	技師	宮本翔也
	技師（再）	植月義友
	技師（再）	田村展敏
	技師（再）	影山毅
	技師（再）	杉山定
	臨時	小林直子
	臨時	福田佳子
蒜山家畜診療所	所長	大谷香里
TEL 0867-66-2517	主任	谷拓海
FAX 0867-66-4626	主任	神田遥子
	技師（再）	金盛隆志
	技師（再）	犬間一郎
	臨時	宮本美佐枝

全農岡山県本部 畜産部 組織図



全農岡山県本部 畜産部 人事配置

令和２年４月１日現在

部・課	職　名	氏　名	備　考
畜産部	部長	川崎　敦史	
	次長	山本　高宏	
	次長	藤原　哲	
畜産販売課 (086-296-5033) (086-280-5024)	課長	暮地岩　有斗	
	専任課長	堀田　文博	
		大森　康弘	兼務
		阿食　赳正	
		太田　衣美	
		福尾　真奈美	
		福島　美津子	
		原　千秋	
		太田　裕之	
		難波　智明	
		別所　和彦	兼務
岡山 GP センター (086-292-5307)	センター長	大森　康弘	
ミートセンター (086-296-5088)	センター長	藤原　哲	兼務
		木下　貴博	
		中村　倫政	兼務
		川上　圭太	
		井上　清志	
		廣重　和秀	
		中本　航輝	
		佐藤　茂	
はなやか精肉店 (086-222-2560)	店長	堀田　文博	兼務
		中村　倫政	
		岸田　健介	
畜産生産課 (086-280-5608)	課長	宰務　研吾	
		小野　皆人	
		妹尾　侑斗	
		難波　智明	兼務
		金光　清文	
		小椋　一広	
		植田　淑江	
総合家畜市場 (0867-42-5333)	場長	中村　健	
		小野　皆人	兼務
		小椋　一広	兼務
		植田　淑江	兼務

おかやま酪農業協同組合機構図：令和2年4月1日付

組合長　岡田　穂積

専務　長恒　泰治

参事　笹野　英明

内部監査室
室長（課長待遇）　赤木　伸一
（兼）　保田　徹
（兼）　中尾　由美子

コンプライアンス対策室
（兼）室長　赤木　伸一
（兼）　土居　直美

総務部長　小椋　孝史

総務経理課
課長　保田　徹
調査役　土居　直美
調査役　中尾　由美子
（兼）　小島　悟司
小山　清志
（兼）　片山　瑛二
仲矢　ゆかり

経営支援課
（兼）課長　小椋　孝史
小島　悟司
（兼）　小山　清志
片山　瑛二

総務部付
中販連駐在　（嘱託）　鶴井　真一

特別対策室
（兼）室長　赤木　伸一
（兼）　小島　悟司

事業本部長　本城　宏史

生産支援課
課長　藤澤　理恵
山中　雅美
樋口　晋一
守安　浩

生産診療課
課長　（獣医師）　清水　正裕
（獣医師）　菅田　祥介
（獣医師）　神野　卓哉
（獣医師）　矢野　敬雄
森中　友美
直原　里江

流通課
課長　大西　克巳
調査役　植月　雅浩
豊浦　陽二郎
芳田　朱音
（嘱託）　高橋　真理子
（臨時）　奥野　信介

購買課・津山SP
課長（兼）津山ＳＰ所長　入江　一憲
水島　博子
佐倉　淑乃
参与　（嘱託）　早瀬　修
（嘱託）　粟井　哲子
（臨時）　森元　あゆみ

生乳課
課長　西原　茂和
調査役　松下　千春
（臨時）　妹尾　明美

津山支所
（兼）支所長　獣医師　清水　正裕
（兼）　森中　友美
花本　和希
平松　翔太

蒜山事務所・蒜山ＳＰ
蒜山事務所長・SP所長（調査役）　山本　恭子
長須　悠樹
山口　英範
兼宗　修平

ヘルパー
青草　真一
岸本　公博
川口　権悟
馬澄　真吾
髙田　碧
齊藤　和樹
（嘱託）　仁木　豊
（蒜山地区）　溝渕　義幸
（蒜山地区）　田端　佑衣

西大寺事務所・西大寺SP
西大寺事務所長・SP所長（調査役）　延藤　久美恵
難波　正憲
獣医師　参与　（嘱託）　坂手　靖宏
（嘱託）　奥山　康恵

ヘルパー
真壁　福元

南支所
南支所長（次長待遇）　松木　晋

備南事務所
（兼）備南事務所長　松木　晋
池田　直人
濵田　高美
岡本　雅代

ヘルパー
西山　勝之
尾崎　直幸

びほく事務所
びほく事務所長（調査役）　髙橋　信介
阿部　静香
木津　登志子

ヘルパー
佐久間　和歌
廣金　佑太

鏡野CS
（兼）ＣＳ所長　西原　茂和
森崎　陽子
湯浅　達也
片岡　純一
三浦　優衣
（臨時）　午道　洋夫

令和２年度　一般社団法人岡山県畜産協会組織図

（令和２年４月１日）

代表理事会長
柴田範彦

副　会　長
岡田穂積

専 務 理 事
（事 務 局 長）
中塚陽二郎

企画管理部　（TEL　086-221-0511）
（FAX　086-234-6031）

審 議 役　小山　雅子
審 議 役　築山　伴文（兼務）
主　　事　井戸本由美

経営支援部

部　　長　藤原　裕士

経営対策班（TEL　086-222-8575）
（FAX　086-234-6031）
班　　長　砂原　一彦
副調査役　井上　睦恵
副調査役　池見　　亮
技　　師　高尾　奈々
参　　与　本松　秀敏

価格対策班（TEL　086-234-5981）
（FAX　086-223-4755）
班　　長　築山　伴文
嘱託職員　和田　直美
参　　与　西家　純一（兼務）

家畜衛生部（TEL　086-232-8442）
（FAX　086-234-6031）

部　　長　河原　宏一
参　　与　大塚　武宣
参　　与　西家　純一
参　　与　吉永　道功
臨時職員　西林　由子

家畜衛生管理センター
（TEL　0867-27-3101）
（FAX　0867-27-3102）

臨時職員　佐々木　太
臨時職員　宮本　敦巳

生乳検査センター
（TEL　0868-54-7366）
（FAX　0868-54-7368）

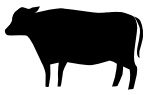
所　　長　小田　頼政
審 議 役　宇谷　　修
技　　師　田中　恭子
嘱託職員　本田　正司
嘱託職員　藤堂ゆみ恵
臨時職員　池田　祥子
臨時職員　巻島　真弓

岡山県畜産関係各種協議会名簿一覧

（令和２年４月１日現在）

名　　称	会　長	事　務　局
岡山県家畜人工授精師協会	狩谷　和宏	岡山県畜産課
岡山県酪農乳業協会	岡田　穂積	おかやま酪農業協同組合
岡山県産牛肉銘柄推進協議会	藤原　雅人	全農岡山県本部畜産部
岡山県産豚肉消費促進協議会	藤原　雅人	全農岡山県本部畜産部
岡山県養鶏協会	安原　健二	烏城養鶏農業協同組合
岡山県ふ卵協会	山上祐一郎	烏城養鶏農業協同組合
岡山県装削蹄師会	平井　計行	岡山県農業共済組合
岡山県養蜂組合連合会	鈴木　康正	鈴木養蜂場
岡山県和牛子牛資質向上対策協議会	川崎　敦史	岡山県畜産協会
岡山県馬事畜産振興協議会	柴田　範彦	岡山県畜産協会
岡山県養豚振興協会	石原　正敬	岡山県畜産協会
岡山県コントラクター協議会	石原　聖康	岡山県畜産協会

オールインワンが自信を持ってお届けします



ついに登場!

乾乳から分娩へ

移行期サプリメント

TMRシリーズ

◇ 搾乳用TMR（ドライ・セミドライ・発酵）

◇ 子牛用ドライTMR（元気な子牛）

◇ 乾乳用ドライTMR（かんたんドライミックス）

乳牛・肉牛飼料の専門メーカー

株式会社オールインワン

ご用命は　中国支店：〒710-0826　岡山県倉敷市老松町1丁目2-40-101
TEL(086)427-6300　FAX(086)427-6011
E-mail : y-suwa@all-in-one.co.jp

第55回豚枝肉共励会を開催しました

岡山県養豚振興協会

岡山県養豚振興協会では、令和２年３月２日から４日にかけて第55回豚枝肉共励会を岡山県営食肉地方卸売市場で開催しました。今回は５農場から２頭を１組とした30組、計60頭の出品がありました。品種の内訳はＬＷＤが26組、ケンボローが４組で、性別では雌が26組、去勢が４組でした。出品された豚枝肉は、公益社団法人日本食肉格付協会の豚枝肉取引規格及び豚枝肉共励会審査基準を基に、５人の審査員が総合的に審査しました。

平均出荷日齢は168.4日、平均枝肉重量76.5kgで、上物率は68.3％と質の高い枝肉が多く出品されていました。一方で、枝肉重量の過大によって格下げされたものも散見されました。審査の結果、最優秀賞に岡山JA畜産㈱荒戸山SPF農場（首席）、岡山ＪＡ畜産㈱美星農場及び㈲協和養豚の出品豚３点をはじめ、優秀賞12点、優良賞15点を選定しました。今回も、豚熱の発生状況等を踏まえ、昨年と同様、枝肉展示や表彰式は実施せず、審査員や事務委員による審査及び成績評価のみを行いました。その後に実施されたセリでは最優秀首席の単価が700円/kg、平均で460円をつけ、新型コロナウイルス感染症の拡大等で消費の減退、自粛ムードの中、まずまずの結果となりました。

取扱品目のあらまし

動物用ワクチン･血清類一切,獣医畜産用薬品全般

家畜･家禽の飼料添加剤各種,獣医畜産用器具機械類

衛生材料（ガーゼ･脱脂綿･繃帯･その他）

土壌関係検査測定器具･試薬

JYUCHIKU Co. Ltd.

株式会社 ジュウチク

岡山市北区奉還町4-4-11 岡獣ビル内　TEL 086-214-2288

FAX 086-214-2287

LIAJ 新規種雄牛！

NTP No. 22

JP5H 56793 ザウルス

FCMax Sort90

（シヤムロツク × スノーマン × ゴールドウイン）

2019-2月

NTP	長命連産効果	乳代効果
+2,181	+64,659円	+75,958円

★乳器改良No. 1！

★祖母は著名な「ｺﾞｰﾙﾄﾞ　ﾐﾂｼｰ」

★当団初のシヤムロツク息牛！

★乳成分率ｵｰﾙﾌﾟﾗｽ！（FAT%:第5位）

（娘）ミキファーム　ザウルス　エレベーション
鳥取県　合同会社　三浦牧場　所有

GEBV

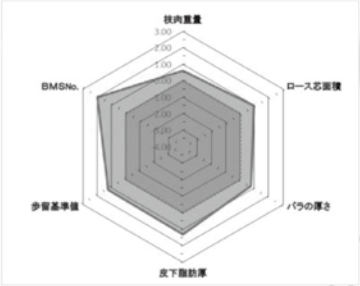
Milk	+614kg	
Fat	+ 58kg	+0.35%
SNF	+ 62kg	-0.04%
Pro	+ 28kg	+0.09%
SCS	2.21	

決定得点+1.38 4位！　体貌と骨格+1.24 8位！
肢蹄 +0.09　乳用強健性+0.76
乳器 +1.84 1位！！

P黒1025 美津金幸（美津照重×平茂勝×金幸）

【ゲノミック育種価】

- 枝肉主要3形質　第10位！
- BMS　第6位！
- 皮下脂肪厚　第4位！
- 枝歩留基準値　第7位！



○現場後代検定成績

性別	調査牛頭数 総数	調査牛頭数 調査頭数	BMS No.	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	4等級以上率
去勢	9	9	8.0	454	62	7.7	1.8	75.3	100%
雌	12	12	8.1	449	63	7.7	2.5	74.8	92%
平均	21	21	8.0	452	63	7.7	2.2	75.1	95%

【ゲノミック育種価】

BMS 育種価	BMS 正確度	枝肉重量(kg) 育種価	枝肉重量(kg) 正確度	ロース芯面積(cm²) 育種価	ロース芯面積(cm²) 正確度
2.649	0.94	18.303	0.93	5.240	0.92

バラの厚さ(cm) 育種価	バラの厚さ(cm) 正確度	皮下脂肪厚(cm) 育種価	皮下脂肪厚(cm) 正確度	歩留基準値(%) 育種価	歩留基準値(%) 正確度
0.276	0.90	-0.640	0.93	1.226	0.93

(一社) 家畜改良事業団 岡山種雄牛センター
TEL：0868(57)2475
FAX：0868(57)2476

高 知 競 馬 開 催 案 内

地方競馬の収益金の一部は国内の畜産振興に役立てられています。

5　月								6　月							
開催日			備　考	開催日			備　考	開催日			備　考	開催日			備　考
1	金			17	日	○	ナイター	1	月			17	水		
2	土			18	月			2	火			18	木		
3	日	○	ナイター	19	火			3	水			19	金		
4	月	○	ナイター	20	水			4	木			20	土	○	ナイター
5	火			21	木			5	金			21	日	○	ナイター
6	水			22	金			6	土			22	月		
7	木			23	土	○	ナイター	7	日			23	火		
8	金			24	日	○	ナイター	8	月			24	水		
9	土	○	ナイター	25	月			9	火			25	木		
10	日	○	ナイター	26	火			10	水			26	金		
11	月			27	水			11	木			27	土	○	ナイター
12	火			28	木			12	金			28	日	○	ナイター
13	水			29	金			13	土	○	ナイター	29	月		
14	木			30	土	○	ナイター	14	日	○	ナイター	30	火		
15	金			31	日	○	ナイター	15	月						
16	土	○	ナイター	ナイター（14:45～20:50）				16	火			ナイター（14:45～20:50）			

ホ ッ ト ニ ュ ー ス

岡山県馬事畜産振興協会（事務局　岡山県畜産協会）は、令和２年２月26日（水）に高知競馬場において「岡山県吉備の温羅特別競走」を開催しました。

レースは第７R、サラ系で、フィット号（騎手　永森大智、馬主　大月隆寛）が勝利しました。騎手や馬主、調教師、厩務員に「おかやま和牛肉」を贈呈し、高知競馬を応援しました。

あとがき

高齢化や若者の都市部への流出等により、農山村地域における労働人口が減少し、畜産に限らず他産業においても人材不足が深刻化している。

そうした中、畜産を担う新規就農や後継者の育成･確保には、一定期間、従業員として飼養管理技術や経営を学ぶことのできる雇用就農が有効と考える。そのためには、十分に労務管理された法人経営、酪農や肉用牛生産の作業の一部を外部委託できる支援組織等の育成･強化が必要であり、意欲ある若者に選ばれる職場環境づくり、働き方改革が欠かせないだろう。（Y.N）

岡山畜産便り　4月号（春季号）

第71巻　第3号（通巻686号）
令和2年4月27日発行
定価250円（消費税･送料含）

発行人　柴田範彦　　編集人　中塚陽二郎
発行所　**一般社団法人　岡山県畜産協会**
〒700-0826　岡山市北区磨屋町9-18　岡山県農業会館5階
TEL 086－222－8575　FAX 086－234－6031
印刷所　ノーイン株式会社

株式会社 アスコ
http://www.asco.sala.jp

国内広域展開の動物用医薬品ディーラー
人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

本 社

〒441-8021
愛知県豊橋市白河町100番地
TEL 0532-34-3821
FAX 0532-33-3611

営業所
所在地

・東日本支店
児玉、前橋、松本、旭、茨城、栃木
東京、大宮、宮城、福島

・中日本支店
豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋

・西日本支店
広島、福山、山口、米子、岡山
大阪、京都

メディパルグループ

動物の健康は
人の健康につながる

●動物用医薬品販売の全国ネットワークを駆使し、
あらゆる動物の健康維持に貢献します。
●安全な畜水産物の生産をサポートし、
獣医療の発展と食の安全・安心に貢献します。

MPアグロ株式会社

本社 〒061-1274 北海道北広島市大曲工業団地6丁目2番地13
TEL 011(376)3860 FAX 011(376)2600

岡山支店 〒709-2122 岡山市北区御津吉尾1ー1 TEL 086-724-4880 FAX 086-724-4889
AHSC西日本 〒702-8032 岡山市南区福富中2丁目6ー18 TEL 086-902-2200 FAX 086-264-2500
御津物流センター 〒709-2122 岡山市北区御津吉尾1ー1 TEL 086-724-4816 FAX 086-724-4882
東京本部・札幌・旭川・函館・帯広・北見・釧路・青森・秋田・盛岡・山形・仙台・東京・北関東
大阪第一・大阪第二・兵庫・広島・山口・鳥取・島根・高松・徳島・松山・宇和島
福岡オフィス・福岡第一・福岡第二・熊本・宮崎・鹿児島・鹿屋
札幌物流センター・帯広物流センター・盛岡物流センター・関東物流センター

岡山畜産だより 令和二年四月号（春季号）
（第七十一巻第3号通巻六八六号）
令和2年4月27日発行
岡山市北区磨屋町九ー十八 岡山県農業会館
発行所 岡山県畜産協会
定価 一部 二五〇円（送料共）
年間 一五〇〇円（送料共）